



一隅を照らそう
7月号

330号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



合掌は大切

住職 中島 有淳

一粒でも蒔くまい 微笑めなくなる種は
どんなに小さくても
大事に育てよう 微笑みの芽は
この二つさえ絶え間なく実行してゆくならば
人間が生まれながらに持っている
いつでも どこでも なにものにも
微笑む心が 輝きだす

(松居桃楼)

天台宗の宗祖は伝教大師最澄であります。
今から千二百年前、六月四日にご遷化され、本年は大遠忌でありました。コロナ禍でいかんとも出来ず、各自が報恩の思いでこの日を迎えたものです。

千二百年昔といえは随分の年月です。何世代にも亘って連綿と人間の営みが続いて来たわけです。その間に、戦さがあつたり、飢饉があつたり、自然の災害にも見舞われたことでしょうか。

病氣や怪我に対する知識も乏しく、不安に感じ人々が、神仏に一心に祈ってきたに違いありません。物質的には想像以上に貧しかった筈です。どんな食事をしていたのでしょうか。

さらに毎日の楽しみは何だったのでしょうか。

私共は今の生活をあたり前のように思つて生活しておりますが、日本社会はめまぐるしく変化し、科学技術はあらゆる分野で発展して、枚挙にいとまがありません。将来、社会はどうなっていくのかは想像すら出来ない位です。

そうした中で「合掌」を知らない子がいると聞きました。

「まさか？」と思わずにいられません。「手と手をあわせてナム」という感謝と祈りの姿は、世界共通でしょう。子供が「合掌」を知らないということは、親が「合掌」を教えていないということでしょう。親が「合掌」を知らないとは思えません。合掌する心のゆとりを失ってしまったのでしょうか。もしくは大人が合掌を必要のない「形」とでもいうのでしょうか。だとしたらそれは余りにもショックで深刻な話です。「喜びは手を合わせる心から」といいます。

お互いに「合掌」し合う社会でありたいと想います。

両手の世界

両手を合せる
両手でにぎる
両手で支える
両手で受ける
両手の愛
両手の情
両手合したら 喧嘩もできまい
両手に持ったら 壊れもしまい
一切衆生を
両手に抱け

坂村真民

折りふしのはな

ゆり

そろそろゆりが届く頃ですと
はなしをしていましたら
ちようどその夜ゆりの花が届きました
もう四十年前も前 結婚したばかりの頃
玄関は障子一枚
あちこち雨もりのする
茅葺きの二階建ての庫裡で
苔むした北側の屋根には
白い百合の花が咲いていました
さながら日本昔話の世界です
そんな事を考えながら
届いたゆりを生けています (遊)



月例行事案内

- ◎八 日 午後二時
薬師如来祈禱会 観音経読誦
- ◎十一 日 午後二時
智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
- ◎十八 日 午後二時
観音経読誦法要(於・神木観音堂)
- ◎二十八 日 午後二時
不動明王護摩供修行
- * 毎朝六時の朝参り(公開)を実施しています
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ
- どなたさまでも
ご参詣下さい
(マスクはご着用下さい)

7/17(土)

「止観(坐禅)会」9:30-10:30 残り5席
「法華経を読む会」11:00-12:00 残り2席



第34回 夏休み子供止観(坐禅)会の実施について(無料)

昨年は中止しましたが、本年は感染症対策として人数を調整して開催します。
例年と異なり実質4日間ですが、ご参加下さい。

*期 日 7月24日(土)~31日(土)
※前半4日間(24~27)…未就学児から4年生まで
※後半4日間(28~31)…5年生から高校生まで
*時 間 朝 7:00~40分位(おはなし含)

<募集要項>

- 1) 本年は子供のみを対象とします。送迎の親御様は、堂外でお待ちいただけます。
- 2) 申し訳ありませんが、大人の方はご遠慮願います。大人の方は月例坐禅会をご利用下さい。

○オリパラまであとわずか。コロナ禍で気がかりの多い毎日です。この気持ちに漠然とした不信感に変わらなければ……。

○沖縄戦七十六年。辺野古の海はその記憶と共に強引に埋め立てられようとしています。政治と平和は、矛盾を抱えた人間の最大のテーマ?

○6/21の「夏至の日」は「世界キリンの日」と新聞で初めて知りました。動物の中で首が一番長いからだとか、野生のキリンはこの30年間で四割も減ったとか。知らないことだらけです。

○春にユリの苗を数株頂き、玄関前に植えました。蕾が沢山ついで大きく膨らんできました。どんな花が咲いてくれるか楽しみです。

○もうすぐ子供達にとって大きな楽しみの夏休み。沢山の体験と思ひ出は、成長にとってとても大切に重要な事です。思ひ出が夫々のアルバムに上手に残されますように。

合掌